



週報



Rotary
第 2570 地区

入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:晝間和弘

第 12 号 3093 回例会 2019 年 9 月 26 日 (木)

< ❁ 会長の時間 ❁ > 滝沢文夫会長

「ロータリーの中核となる価値観について」

RI では中核的価値観として 5 つのキーワードを示しています。奉仕、親睦、多様性、高潔性、そしてリーダーシップです。



このうち、奉仕と親睦につきましては話しましたが、昔からロータリーの両輪と言われてきました。

「奉仕の理想」、「ロータリーのサービス理念」に謳われる奉仕は社会に役立つ価値を提供すること。世のため人のために尽くすことであり、それは、見返りを求める功利主義的なものではなく、利他主義の思想です。親睦は、単に一緒に酒を飲んだり、ゴルフをしたりする、ということではなく、同じ志を持つ仲間との仲間意識、友情であり、それは、例会や奉仕活動を通じて育まれるものです。

3 つ目の多様性は、ロータリークラブの一番の特徴である職業分類制度によく現れています。多様な職業の仲間との交流というのが、ロータリーの醍醐味です。多様性ということでは、ロータリーは職業だけでなく、人種、性別、宗教の違いを超えて、現在は 200 以上の国と地域に会員を擁する組織です。

後は、高潔性とリーダーシップです。まず、リーダーシップから見てみます。ロータリーでは、リーダーシップという言葉をよく使います。いくつか使用例を並べてみますと、◎地区リーダーシッププラン(DLP)、◎クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)、◎地区指導者育成セミナー、◎ローターアクト指導者育成研修、◎クラブ指導力育成セミナー、◎ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)などが挙げられます。何故、ロータリーでは、リーダーシップという言葉が多用するのでしょうか。ロータリーは事業と専門職務及び地域社会のリーダーの集まりです。ロータリークラブはリーダーシップの修練の場ともいえます。「例会は人生の道場である」と言ったのは、日本ロータリーの創始者の米山梅吉です。ロータリークラブは、企業のように権限を持ったトップが指示・命令をする組織ではありません。会員の平等・対等な関係が前提となります。クラブの組織力を高めるやめには、会員全員の合意形成・対話・協力が重要です。会員それぞれが個性と能力を存分に発揮できるよう、会員全員がリーダーシップ(指導力)を高める必要があるのです。誰か特定の駕籠られた人をリーダーとして育成するというのではなく、会員全員がリーダーシップ(指導力)を身につけなければならない。だから、ロータリーでは、「リーダー

シップ」という言葉が重要なキーワードになっているのです。

そして、高潔性についてですが、英語は Integrity です。私の持っている英和辞書によると「正直」「清廉潔白」「完全」とありました。そのほかには、「真摯さ」もあるようです。「マネジメント」の著者のドラッカーによると、「リーダーシップが発揮されるのは真摯さによってである。範となるのも真摯さによってである」と書かれています。また、ヘンリー・クラウドという精神科医の著作の中で、Integrity は「一人の人の全体が統合されており、個々の部分がうまく活動し、目指す機能を果たすこと。＝人間として全体性があり、効果を上げていること」と要約されています。そして、Integrity をリーダーが備えるべき資質として分析しています。このように、高潔性とリーダーシップとは、切っても切れない関係があることがわかります。高潔性が備わっていなければ、リーダーシップは十分に発揮できないのです。

ロータリーの5つの中核となる価値観は、ロータリー理念の理解を深めるため、そして、私たちロータリアンの行動の規範、指針として、大変重要なキーワードであるといえます。

<幹事報告>

晝間和弘幹事

①10/2 (水) 第2570 地区 第2回 第3グループ 会長・幹事会を19時より所沢ベルヴィザ・グランで開催され 会長・幹事で出席します。



②クールビズは10月末迄ですので、お間違いないよう宜しくお願い致します。

●後藤賢治会員・石川嘉彦会員 令和元年台風第15号千葉県災害について

入間 RC で10数年前、山岸さんが親睦委員長を遣られているの時に、千葉の鋸南町に親睦旅行に行き、釣りをした後にバーベキューや伊勢海老、鮎を食べたりしました。その際に鋸南ロータリークラブの方々に随分と大事にされて交流がありました。鋸南 RC の皆様に何か支援出来ればと思います。どうかご協力宜しくお願い致します。



他のクラブとの交流を入間クラブは盛んに行っています。ロータリアンは何処に行っても同じ考えを持っており居心地が良く積極的に参加しましょう

<出席報告>

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
42名	28名	70.00%	67.50%

事前欠席連絡 5名

☺<ニコニコBOX> 馬路宏樹SAA

★友野会員、宮崎会員、「我等の生業」卓話 宜しくお願い致します。

「滝沢文夫君、晝間和弘君」

★所用により早退いたします。

「山岸義弘君、馬路宏樹君、一柳達朗君」

本日¥5,000 累計¥207,539

■回覧、配布物

- ① 10/6 第8回いるま環境フェアご案内
- ② ハイライトよねやま Vol.234
- ③ 10/17 入間南 RC との合同例会出欠表
- ④ 10/17 入間南 RC 合同ゴルフ会出欠表
- ⑤ 10/31 入間 RC60 周年記念出欠表
- ⑥ 10/6 第8回いるま環境フェアご案内
- ⑦ 2018 年度事業報告書・決算報告書
- ⑧ 2019-2020 年度版ロータリー豆辞典
- ⑨ 週報 11 号

＜職業奉仕委員会＞田中快枝委員長



本日は友野会員と宮崎会員のお二人に「我等の生業」のお話をいただきます。お二人とも全然違う業種ですので、どのようなお話が出るのか大変楽しみにしています。宜しくお願いします。

■ 会員卓話「我等の生業」 ■

❖ 友野政彦会員 ❖

私は社会福祉法人埼玉会会の理事長を務めております。私どもの法人が運営する事業をご紹介します。

・地域包括支援センター（宮寺二本木地区）

社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が配置され、民生児童委員と連携し独居高齢者の見守り、高齢者虐待防止、一般高齢者の介護予防教室、要支援者を対象とした介護予防支援が主な事業です。入間市の委託事業でもあります。

・アヴニール居宅介護支援事業所

介護支援専門員、所謂ケアマネージャーが在籍し、在宅の要介護者を対象とした介護保険サービス利用プランを作成するのが主な業務です。それに伴って各サービス事業者を集めたモニタリングのための会議を定期的に開催します。

・介護老人保健施設アヴニール

通所部門・短期入所部門・入所部門があります。在籍する職種は、常勤の医師・理学療法士及び作業療法士・看護職員・介護職員・支援相談員などです。通所部門は正式名称が「通所リハビリテーション」といい、リハビリ目的でお通いになる方も多くいらっしゃいます。老健における入所は自立支援、さらには在宅復帰支援が本来の目的です。そのために「通過施設」と言われます。しかし、現実には特養の空床待ちの方も少なくありません。



・特別養護老人ホーム聖愛園

上記の老健と同様3部門あります。こちらの入所は終の棲家となりうるので「終生施設」と言われます。対象となるのは要介護3以上の重度な方です。ほぼ同様な職種が在籍しますが、医師は非常勤です。有料老人ホーム等と比較すると利用料が安価なため人気があります。

❖ 宮崎正文会員 ❖

私どもの会社は「株式会社宮崎土建工業所」といまして、入間市内で土木建設業を営んでおります。この名前は創業当時から、変わっておりません。創業は大正時代、大正11年4月に創めまして、あまり意識はしていませんが、もう95年以上続いていると思います。

創業当時は家の基礎や曳き屋をしていたと聞いています。多分、とび職だったのかなと思います。

初代は、「宮崎陸治」といまして、知っている人は知っているし、知らない人は知らないと思いますが、昔は村会議員やいろいろな役をしていたそうです。それで、自分は一応二代目ですが、初代の「陸治」は祖父ですので、本来なら父親が二代目でした。父親は自分が19歳の時他界してしまい、祖父より早く亡くなってしまいましたので、祖父が頑張って会社を切り盛りしていました。そして、自分が戻るまで頑張っていました。自分が23歳で戻ったら、安心したのか急に亡くなってしまい、そこで、自分が家業を継ぎました。それが昭和58年です。それ以来、35年ほどこの仕事を続けております。

それでは仕事の内容ですが、戦前はとび職のような仕事を続けていたと思いますが、戦後になり、だんだんと役所の公共土木の工事を下請けで請け負うようになり、その後、役所から直接請け負うようになって、今の形態になったと思っております。

そして、昭和20年代30年代の時代は、埼玉県及び入間市が合併する前の武蔵町・西武町や各地区の村の土木工事を請け負わせ



てもらってました。（まだ自分は生まれていませんが）その当時は、埼玉県の場合は川越に土木公営所という事務所がありまして、そこが西部地区で川越や所沢、坂戸や飯能・入間市などの県施設を管轄していました。今は、飯能に県土整備事務所というものがあります。その県の事務所では、国道・県道・河川・砂防などの工事をしていました。また、市町村では、先ほど言いましたが、入間市になる前から、同じような仕事を請け負っていました。

その後、昭和 30 年代から 40 年代は高度経済成長期になり、公共土木工事が増えてきて、あちこちで道路工事や下水道工事、河川工事や橋の工事をしていたと思います。今もそうですが、仕事の受注は入札で決まりまして、当時は役所から指名を受けて、そこで入札をして一番安い金額を入れた会社が、仕事を決まるというものです。その当時は、紙の入札でしたが、平成も後半になって、コンピューターで行い、電子入札制度に変わっていきました。

地域的にも、昔は地元の会社が指名を受け、仕事をしておりましたが、最近では、地域範囲が地元ではなく、川越・東松山・秩父・朝霞などから多数参加してきます。工事看板等を見れば、どこの会社が工事しているのかわかると思います。

次に実際、うちで工事を行っている内容はと言いますと、・道路工事・河川工事・橋りょう工事・グラウンドや公園工事・上下水道工事・維持管理の工事などを行っております。細かく言いますと、道路なら県が管理している国道（R299.407.463号）・県道及び入間市道等の舗装修繕、歩道の設置事、公共下水道や水道本管の布設工事です。

次に河川工事では、埼玉県が管理している川（入間川、霞川、不老川、高麗川）などの護岸のブロック積工事、根固め設置工事です。また河川でも砂防といわれる工事です。堰堤（ダム）流路工事です。砂防とは山の中を流れている川のことで、橋りょう工事では、橋の橋台・橋脚の新設工事、上部桁の

設置工事です。また最近では、地震等に対応した橋の耐震補強工事です。耐震補強とは、橋脚のコンクリートを厚くしたり、鉄板で覆ったり、橋桁が落ちないように鎖でつなげたり、クラックがあれば補修したりと最近では、そういう工事が増えています。

学校のグラウンドや公園の新設等も行っています。グラウンドの工事では、高校・小中学校・中央公園等のグラウンド改修、公園では県立公園・入間市の富士見公園なども携わっております。上下水道の工事では、汚水本管や水道の本管工事、また宅地内の配管工事なども行っております。

次に道路や河川の維持管理工事です。内容は道路や河川の草刈、清掃、それに歩道の防護柵や看板の設置や取替え工事。

また台風や地震等の緊急時の場合に、道路では穴埋めやフェンス・看板・倒木等の片付け、復旧工事。河川では台風・大雨での護岸の崩れなどに対応する工事やパトロールも昼夜関係なく行っております。あと、冬場では道路の除雪・凍結防止剤の散布業務も行っています。それに地震があった時の道路や河川のパトロールも実施しています。今はこういう維持管理や緊急の仕事が増えています。

ということで、大正時代から続いている会社ですが、まもなく創業 100 年になるろうとしています。今後、何か災害等があったらやはり地元を知っている建設業者がいないと困るのは地元の皆さんだと思います。今、テレビなどでいろいろな災害のニュースが出ていますが、自衛隊・消防・警察等ばかり出ています。ただ、その災害地までに行くには、道路を通らなければ災害地に行けません。その道路等を通れるようにするのは、我々建設業者です。

建設の中にもいろいろな職種（土木・建築・水道・電気・造園・大工・解体業）がありますが、いざ災害という時に頼りになるのは我々ですので、これからも地元の建設業者を応援くださるようよろしくお願い致します。

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12：30～13：30 ■会報委員長：水村雅啓

